

## ひと・夢・まち 町長コラム

### 「自分のことを後回しにできますか？」（令和元年6月号） （西郷どんの教え vol. 1）

社会の中でもそうですが、学校やクラスの中でも一人一人が何らかの係や役割、仕事を持っていると思います。地域では「隣組長」は何年かに1回は必ず回ってきます。そして地域のため、クラスのためにどんな仕事であっても、全力で取り組み、また自分勝手な行動をしてはいけないということです。「利己主義」と「利他主義」という言葉がありますが、「利他主義」を重んじる方は、他人の幸福や利益を図ることをまず第一に考えます。

西郷さんも明治維新の時は自分が最も大切にしていた「敬天愛人」の精神に基づき仲間と共に国づくりを進めたのだと思います。みんなのためになることを第一に考え、そして、地域やクラスの誰がみても正しいという方法で進めていかなければならないのです。そして、「時として、もし、自分より優れた人が現れたら、すぐに交代するぐらいの大きな心を持たなければ、いい地域やクラスにはならない」と言っています。